

## ゼミ研究活動の紹介

### 1. 卒論（発表予定もしくは過去に発表された卒論）と研究内容

#### 卒論やフィールドワーク

- |                          |              |
|--------------------------|--------------|
| ①自転車の普及政策について            | (平成 29 年度予定) |
| ②空き家政策の在り方について           | (平成 28 年度)   |
| ③家族向け公的支出は少子化対策に有効であるか   | (平成 27 年度)   |
| ④水道事業の海外展開について           | (平成 26 年度)   |
| ⑤愛知県における交通事故発生原因         | (平成 26 年度)   |
| ⑥児童手当の効果—児童手当の制度目的からの考察— | (平成 25 年度)   |

#### ゼミ研究活動（演習時間中での研究内容）

2017 年度は、前半に「経済セミナー2・3月号 2017」に基づき、「財政でできること・できないこと」というテーマに関わる論文を輪読した。取り上げられた論文は、「人口減少・高齢化が財政に与える影響」、「所得・資産格差の動向と政策対応」、「子ども・子育て支援と日本財政」、「高齢者福祉がなぜ問題なのか」等であった。論文輪読を通じて、データの特性の理解、取り扱い方、資料の作成方法、発表の方法などを学ぶ機会となった。後半はグループワークでグループ論文を作成した。

### 2. 特記事項（研究会、発表などの研究活動）

- ①他大学との合同ゼミ→中部経済学インターゼミに参加

（研究発表タイトルの一例）

- ・ POP 広告における質的内容と消費者の購買意欲の変化調査
- ・ 自動販売機の生存
- ・ 行列の視覚的効果を用いたマーケティング
- ・ 理想的なポイントカード～Rポイントから見るポイント市場～
- ・ 24 時間営業は必要か？～コンビニエンスストアを例に～